

経営後継者研修だより

10月のトピック 経営哲学・価値観への理解と自社沿革を紐解き、経営後継者のあるべき姿を定める。

10月のテーマは、経営者マインドの醸成と自社沿革・経営理念の分析です。経営者マインド開発の講義では、「経営者」としてどうあるべきか、また企業を經營することの意義を考え、後継者として、「何をすべきか」、「どうありたいか」を考えます。10月13日（金）の午後には、当研修第42期卒業生のほっとコミュニケーション(株) 豊田将大氏、富士見工業(株) 山本縁氏を講師として迎え、研修中での体験談や帰社後の活動、研修での学びを自社でどう活かすのか等のお話を伺いました。

自社沿革・経営理念分析では、自社の沿革を深く調べます。創業精神や経営哲学など自社への理解を深めることは、現経営者と対話や今後の自社分析を進める上での土台となります。

私たちが広報委員です！

今号より第44期生広報委員の3名に「経営後継者研修だより」の執筆にご協力いただきます。

10月の講義受講後の感想や気づきを伺いました。



経営後継者研修とその後の私の経営観【OB・OG 講演】

講演を聞き、10カ月後の自分が楽しみになってしまう程、素敵なお二人でした。お話や表情からは伺えない程の努力をされ、研修を卒業し現在、後継者として日々奮闘されていると感じました。その様なお二人から「この10カ月間を自分のために使ってほしい。なにより楽しんでほしい。」とお言葉をいただき、私は自分だけでなく44期生全員が楽しみながら成長をしていってほしいと思うようになり、卒業生に負けないよう日々奮闘しております。【株式会社海洋先端技術研究所 植木 遙介】

自社沿革・経営理念分析

「過去を見定めれば、未来が見える。」 講義冒頭の言葉です。私はVUCAの時代だからこそ未来の予測と危機が訪れても迅速に対応できるマインドが必要であると思っておりました。一方で、自社の歴史や経営理念を理解していなければ、長きに渡り会社が築いてきたものへの否定にも繋がりを教わりました。この分析を通して、自社と自分という二つの想いと真剣に向き合える良い機会となりました。感謝・縁・後継者像・映像化・バックアップ・浸透化・覚悟・父のこだわり 等、研修生の分析結果は様々なものがございました。【竹内運輸工業株式会社 竹内 顯嗣】



OB 講演の様子



自社沿革・経営理念分析（面談）の様子

10月を振り返って

まず初めに、第44期後継者研修生を向かい入れる為に多岐に渡り準備を下された事務局と講師の皆様へ心より感謝を申し上げます。我々が1カ月無事に滞り無く研修を進めて来られたのも皆様のサポートのおかげと思っております。さて、開講時と比べ皆の表情もだいぶ柔らかくなってきました。新しい学びに触れる日々で気を付けなければならない事が一つあります。それは、「**自社に戻った時、どのように役に立つのか**」という考え方です。学ぶ事が目的ではなく、**我々の目的は後継経営者になる事**。この事を忘れずに残り9カ月しかない研修を大切に学びたいと思います。【株式会社シスネフーズ 田中 信宏】

第44期 自治会活動内容

- ・自治会とは…研修生の主体的参加による組織的な活動です。様々な取り組みで「成果がやすい」、「前向きになれる」環境づくりを目指します。以下、10月の活動内容となります。

グラウンドルールの策定とコミュニティー形成のための案の出し合いを行いました。

グラウンドルールとは、44期のメンバーで決めるオリジナルルールです。規律ある行動や皆が成長するためのルールを設けることで、緊張感の緩みを抑えます。

コミュニティー活動として今回決まったものは、①毎朝のG&N(good&new)活動 ②美点凝視ノート ③情報共有会 ④講師から研修生にフィードバックをもらう ⑤ボウリング大会 の5つとなります。

スローガンについては、『**尊重・傾聴・成長**』となりました。

私たちが自治会メンバーです！

研修生の学びを最大化するための自治会メンバーがこちらの5名となります。研修生を導くため、日々アイデアを出し合っています！



自治会活動状況です！

全員でグラウンドルール・スローガン・コミュニティー活動の案を出し合い、話し合っています！



INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

- ◆第45期経営後継者研修 **第一次募集の締め切りは、2024年3月29日（金）**です。東京校では、2024年10月1日（火）開講、第45期生の申込みを受け付けています。定員になり次第、募集を締め切ります。ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。